

III 特殊分類別（財別） 鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

（表5、表6）

1. 最終需要財

7年の県内最終需要財の生産指数は84.2で、対前年比0.4%増加した。一方、在庫指数は97.3で、対前年比△5.7%減少した。

1-1 投資財

7年の県内投資財の生産指数は88.2で対前年比4.3%増加した。一方、在庫指数は105.4で対前年比3.7%増加した。

1-1-1 資本財

7年の県内資本財の生産指数は89.5で、対前年比10.8%増加した。これは、数値制御専用機等が増加したためである。

四半期別に推移をみると、1～3月期は93.1（対前期比9.4%増）、4～6月期は91.0（同2.3%減）、7～9月期は86.3（同5.1%減）、10～12月期は87.7（同1.6%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は128.0で、対前年比11.3%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は134.2（対前期比61.4%増）、4～6月期は141.5（同5.4%増）と2期連続増加し、7～9月期は127.9（同9.7%減）、10～12月期は114.7（同10.3%減）と2期連続減少した。

1-1-2 建設財

7年の県内建設財の生産指数は86.4で、対前年比△4.0%減少した。これは、水門、浴槽等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は102.1（対前期比27.7%増）、4～6月期は79.5（同22.2%減）、7～9月期は84.8（同6.7%増）、10～12月期は78.4（同7.5%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は81.4で、対前年比△7.0%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は81.9（対前期比3.3%減）、4～6月期は85.0（同3.7%増）、7～9月期は83.8（同1.4%減）、10～12月期は74.8（同10.7%減）と2期連続減少した。

1-2 消費財

7年の県内消費財の生産指数は78.4で、対前年比△5.4%減少した。一方、在庫指数は82.2で、対前年比△22.4%減少した。これは耐久消費財が減少したためである。

1-2-1 耐久消費財

7年の県内耐久消費財の生産指数は70.5で、対前年比△8.0%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は78.7（対前期比11.3%増）、4～6月期は71.2（同9.5%減）、7～9月期は68.9（同3.3%減）、10～12月期は63.7（同7.5%減）と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は57.3で、対前年比△47.7%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は86.2（対前期比5.5%増）、4～6月期は47.1（同45.4%減）、7～9月期は43.2（同8.4%減）、10～12月期は52.2（同21.0%増）と増減を繰り返した。

1-2-2 非耐久消費財

7年の県内非耐久消費財の生産指数は95.1で、対前年比△1.1%減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期は91.6（対前期比1.3%減）、4～6月期は98.9（同8.0%増）、7～9月期は92.4（同6.6%減）、10～12月期は97.4（同5.3%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は104.0で、対前年比1.2%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は111.0（対前期比12.3%増）、4～6月期は128.2（同15.5%増）と2期連続増加し、7～9月期は95.4（同25.6%減）、10～12月期は90.2（同5.5%減）と2期連続減少した。

2. 生産財

7年の県内生産財の生産指数は95.9で、対前年比4.4%増加した。これは、鉱工業用生産財、その他用生産財がともに増加したためである。

一方、在庫指数は108.4で、対前年比6.2%増加した。

2-1 鉱工業用生産財

7年の県内鉱工業用生産財の生産指数は95.0で、対前年比4.4%増加した。これは、ポリエチレンテレフタレート等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は95.6（対前期比2.9%増）、4～6月期は96.2（同0.6%増）と2期連続増加し、7～9月期は95.1（同1.1%減）、10～12月期は93.3（同1.9%減）と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は109.1で、対前年比7.0%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は100.8（対前期比1.6%増）、4～6月期は107.0（同6.2%増）、7～9月期は114.3（同6.8%増）、10～12月期は115.0（同0.7%増）とそれぞれ増加した。

2-2 その他用生産財

7年の県内その他用生産財の生産指数は118.3で、対前年比4.3%と7年連続増加した。これは、印刷情報紙等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は117.4（対前期比5.9%増）と2期連続増加し、4～6月期は122.8（同4.6%増）、7～9月期は118.7（同3.4%減）、10～12月期は114.4（同3.6%減）2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は95.3で、対前年比△8.4%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は93.4（対前期比9.9%減）、4～6月期は98.1（同5.1%増）、7～9月期は95.9（同2.3%減）、10～12月期は93.8（同2.2%減）と2期連続減少した。

表5 特殊分類別鉱工業生産指数増減率

平成2年=100

	対前年増減率(%)				7年四半期別・対前期増減率(%)			
	4年	5年	6年	7年	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
鉱工業	△ 5.4	△ 2.7	△ 3.5	2.5	8.3	△ 3.8	△ 1.5	△ 2.8
最終需要財	△ 4.8	△ 1.7	△ 7.4	0.4	13.0	△ 8.3	△ 1.7	△ 2.8
投資財	△ 5.5	△ 0.6	△ 4.7	4.3	17.0	△ 10.8	△ 0.8	△ 2.4
資本財	△ 5.9	△ 3.3	△ 5.6	10.8	9.4	△ 2.3	△ 5.1	1.6
建設財	△ 4.9	3.1	△ 3.5	△ 4.0	27.7	△ 22.2	6.7	△ 7.5
消費財	△ 3.8	△ 3.3	△ 11.1	△ 5.4	7.2	△ 3.1	△ 5.2	△ 2.8
耐久消費財	△ 6.4	△ 5.3	△ 14.2	△ 8.0	11.3	△ 9.5	△ 3.3	△ 7.5
非耐久消費財	1.7	0.8	△ 5.4	△ 1.1	△ 1.3	8.0	△ 6.6	5.3
生産財	△ 6.0	△ 3.6	0.6	4.4	3.0	0.8	△ 1.3	△ 1.8
鉱工業用生産財	△ 6.4	△ 3.9	0.4	4.4	2.9	0.6	△ 1.1	△ 1.9
その他用生産財	4.4	2.0	4.5	4.3	5.9	4.6	△ 3.4	△ 3.6

表6 特殊分類別鉱工業生産者製品在庫指数増減率

平成2年=100

	対前年増減率(%)				7年四半期別・対前期増減率(%)			
	4年	5年	6年	7年	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
鉱工業	0.7	△ 1.3	△ 3.4	1.9	7.8	4.1	0.5	△ 3.0
最終需要財	△ 0.9	4.3	△ 5.7	△ 5.7	21.5	0.3	△ 10.3	△ 8.4
投資財	△ 2.6	13.4	△ 10.5	3.7	30.1	2.2	△ 5.5	△ 8.5
資本財	6.1	35.1	△ 14.8	11.3	61.4	5.4	△ 9.7	△ 10.3
建設財	△ 10.4	△ 9.4	△ 3.8	△ 7.0	△ 3.3	3.7	△ 1.4	△ 10.7
消費財	2.0	△ 10.5	4.3	△ 22.4	10.3	△ 5.0	△ 22.7	△ 3.2
耐久消費財	0.5	△ 12.6	0.9	△ 47.7	5.5	△ 45.4	△ 8.4	21.0
非耐久消費財	3.7	△ 8.4	7.8	1.2	12.3	15.5	△ 25.6	△ 5.5
生産財	1.6	△ 4.4	△ 2.0	6.2	1.0	6.1	6.5	0.6
鉱工業用生産財	0.7	△ 3.7	△ 2.4	7.0	1.6	6.2	6.8	0.7
その他用生産財	19.8	△ 15.3	3.8	△ 8.4	△ 9.9	5.1	△ 2.3	△ 2.2